

# 第1章 ビジョン策定にあたっての基本方針

## 1 策定の趣旨

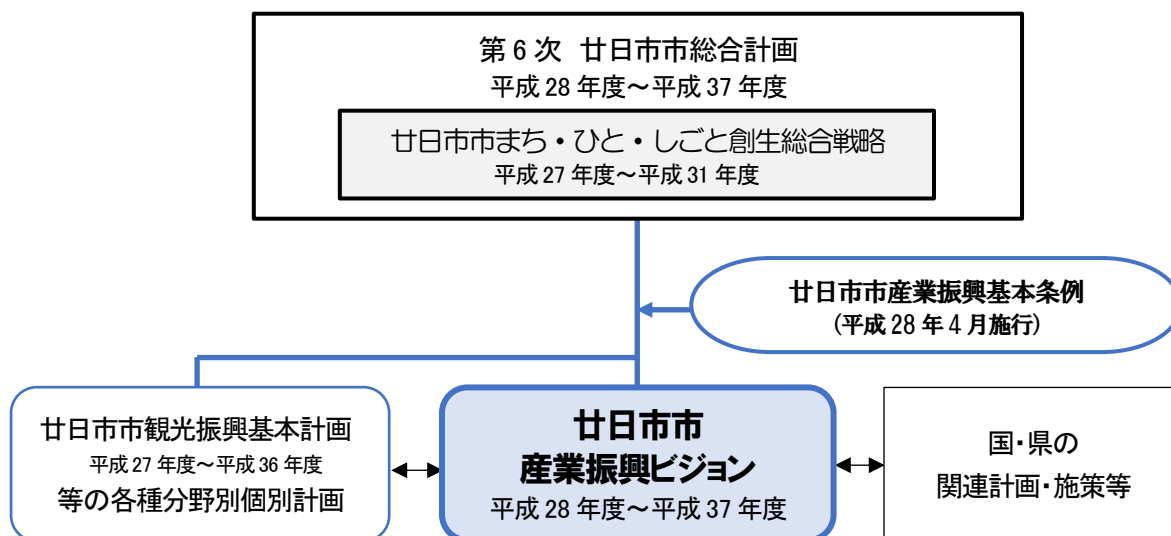
「廿日市市商工業活性化ビジョン」（平成20年3月）の計画期間が平成27年度で終了するため、これまでの取組成果をもとに、市内の商工業、農林水産業、観光関連産業等の連携をより一層推進し、本市の経済的自立性を高めるため、本市の産業振興の基本方向、横断的戦略及び施策並びに推進方を明らかにする「廿日市市産業振興ビジョン」を策定します。

なお、本市の産業振興は、事業者の創意工夫及び自主的な経営努力を尊重し、事業者、産業経済団体、国・県の産業支援機関、金融機関、大学、NPO等のまちづくり活動団体、市民及び市が相互に連携し、協働することにより、事業者の活力が最大限に発揮され、地域経済の持続的発展が図られることを本旨とします。

## 2 計画期間

「第6次廿日市市総合計画」（計画期間：平成28年度～平成37年度）を上位計画とし、市の産業振興に関する個別計画とすることから、総合計画と同様に平成28年度から平成37年度までの10年間を計画期間とします。また、総合計画の前期・後期基本計画に合わせ、5年間の目標を設定し、毎年度、施策、事業等の点検、評価を行うとともに、社会経済状況の変化や国の施策等を踏まえ、施策等の見直しを行うこととします。

### ■廿日市市産業振興ビジョンの位置付け



## 3 策定方針

本市では、「廿日市市商工業活性化ビジョン」の提言に基づき、新商品開発等補助事業、広島工業大学研究室訪問事業、中山間地域のにぎわい創出事業、創業支援施設（しゃもじんキューブ）の開設、創業・起業支援講座（しゃもじん創業塾）、産業関連強化塾等の事業を推進してきた結果、市内の商工業事業者、農林水産事業者、観光事業者等の連携の気運が醸成されつつあります。

また、「廿日市市産業構造調査」では、本市の経済の自立性を高めるためには、移出産業の強化及び地域資源を活用した農商工連携<sup>1</sup>による新たな経済循環の創出が必要であるとされています。

このようなことから、産業関連の強化による産業振興を「廿日市市産業振興ビジョン」の策定方針とします。

<sup>1</sup> 農商工連携 農林水産業、商業、工業等の産業間での連携を強化し、両者の有する強みを発揮して行う、新しい商品やサービスの開発・提供、販路の拡大などの取組。